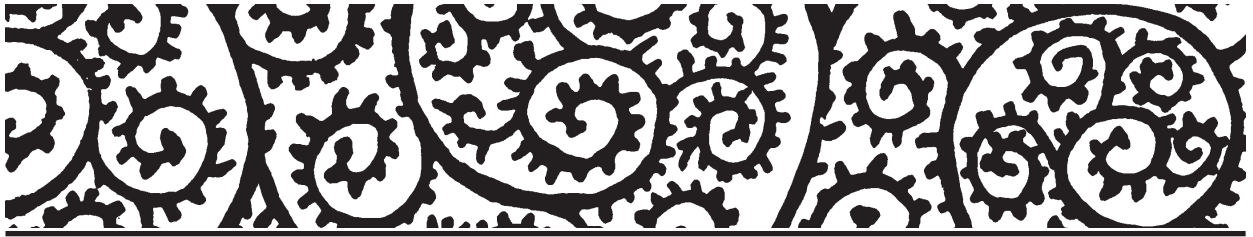


第72号表紙(目次)

著者	金沢大学人文学類歴史文化学コース 大学院人間社会環境研究科 考古学研究室
雑誌名	金大考古 = The Archaeological Journal of Kanazawa University
巻	72
発行年	2012-07-20
URL	http://hdl.handle.net/2297/36946



金大考古

第72号

The Archaeological Journal of Kanazawa University

vol. 72 July 2012

目次

足立 拓朗

北部イランの鉄器時代編年の問題について

—タッペ・ジャラリエ遺跡の成果から— 1-8

坂本 圭佑

ホンジュラス、コパン遺跡における調査報告 8

魚水 環

近年の発掘成果から見る中世七尾城下町の様相 8

金沢大学人文学類考古学研究室

2012年7月



『金大考古』投稿規程

1. 原稿は e-mail で編集委員に送る。
2. 校正は編集委員及び執筆者が校了を同意するまで行う。
3. 査読は編集委員 2 名を以って行なう。
4. 原稿の著作権は著者に属す。ただし、電子データ等の公開権利は金沢大学及び金沢大学考古学研究室が有する。

『金大考古』執筆要項

1. 版面について：

InDesign の場合、文字版面は A4 版横書き 24 字×42 行横 2 段組。余白天 30mm 地 27mm 左 22mm 右 22mm。word は類似の大きさに。ヘッダー「金大考古 号数、発行年 筆者・論文名・ページ数」、フッターにページ番号。

2. 書体：

InDesign 和文は、小塚ゴシック Pro (論文タイトル 20Q・著者名 16Q・見出し 13Q)、本文テキストは小塚明朝 Pro 13Q、欧文は小塚明朝 Pro または Times New Roman、14Q。Word 和文は論文タイトル・著者名・見出し 10.5P は MS ゴシック、本文テキストは MS 明朝 10P、註・参考文献は MS 明朝 9P、欧文は Times New Roman。文字大きさは InDesign とほぼ同じとする。

3. 原稿・図版類の入稿形態について：

原稿は Word または InDesign とし、図版類は JPEG、PDF など汎用性のある形式でデータも提出する。その他のデータ形式の入稿は編集委員と協議する。文中に配置・貼付し、キャプション (InDesign 11Q, word 9P) も記載する。

4. 使用言語は日本語、英語、中国語を基本とする。

5. 文章表記について： 度量衡単位は cm、kg、m³等のように記号を、数量は算用数字を使用する。

6. 註・参考文献について：

註は通し番号を付し、文章末尾に一括して掲載する。本文中の参考文献は執筆者と刊行年を明記し、引用箇所が明確な場合はそのページ・行数を参考文献とともに記入する。

7. 挿図・写真図版について：

a. 挿図はデジタルトレースまたは手書きトレース済みの完全版下とし、縮尺・写植・見出しなどの指示を入れる(写真図版も同様)。b. 編集作業を潤滑におこなうため、割付見本を作製する。c. 挿図および表は典拠を明記する。但し執筆者自身の原図・表の場合には断る必要はない。

8. e-mail アドレスを論文末尾に掲載

『金大考古』編集委員

足立拓朗 (金沢大学准教授)、小川光彦 (日本海域水中考古学会)、垣内光次郎 (石川県埋蔵文化財センター)、勝俣竜哉 (御殿場市教育委員会)、小松隆史 (井戸尻考古館)、酒井 中 (金沢大学大学院生)、桜井秀雄 (長野県埋蔵文化財センター)、坂本圭祐 (金沢大学大学院生)、佐々木達夫 (金沢大学名誉教授)、庄田知充 (金沢市埋蔵文化財センター)、高濱 秀 (金沢大学教授)、田崎稔也 (金沢大学大学院生)、野上建紀 (有田町歴史民俗資料館)、前田清彦 (鯖江市教育委員会)、松井広信 (金沢大学大学院生)、渡辺芳郎 (鹿児島大学)

金大考古第 72 号

金沢大学人文学類歴史文化学コース
大学院人間社会環境研究科
考古学研究室
920-1192 金沢市角間町
kanazawa-u_koukogaku@live.jp
2012 年 7 月 20 日

